

ikumoriプロジェクト

年次報告書 2022



年次報告書 2022



目次

1. はじめに……3
2. ikumori プロジェクトとは / SDGs との関連性……4.5
3. ikumori 製品の販売実績と植樹実績……6
4. 施工事例 / ユーザー様の声……7
5. ikumori 製品のご紹介……8



1. はじめに



2021年「森からいただいた広葉樹をいただいた量だけ森にお返し」を掲げスタートした「ikumori プロジェクト」。2022年6月30日で第1期を終え、2022年7月から2023年6月までの第2期を迎えております。2021年10月に第1回の植樹で始動し、同年12月より ikumori 製品の販売を開始いたしました。たくさんの反響を頂戴いたしております。さる2022年10月15日、第1期の ikumori 製品販売実績に基づき第2回の植樹を完了いたしました。

「ikumori」は林業関係者、製品生産者、販売者、購入者と、様々な立場の方々にご賛同いただいで進めるプロジェクトです。この報告が皆様とのコミュニケーションの一つとなり、息の長い広がりのある活動の一助となることを願っております。

株式会社 ニッシンイクス
マーケティンググループ
グループ長 加藤 学



2. ikumori プロジェクトとは /SDGs との関係性



ikumori プロジェクトでは、自然に育った北海道の広葉樹をできるだけ無駄なく効率よく使用して、フローリングと内装用パネルを製造販売、製品に使用した量に見合う広葉樹を植樹します。広葉樹林の面積のバランスを維持し、より豊かな生態系を育てて将来世代に貴重な森林をひきついでいきます。そしてikumori製品はインテリア素材を検討される方々にエシカルな製品の選択肢をご提供いたします。

ikumori プロジェクトは以下にご紹介する SDGs 目標を中心に取り組み、サステナブルな社会づくりに貢献します。



15. 陸の豊かさを守ろう

ikumoriプロジェクトは、使用した北海道産広葉樹の原木量に見合う広葉樹の苗木を植樹することによって、持続可能な森林の利用を実現します。また植樹を通じて、土壌の保全をはかり、豊かな生態系を育みます。



12. つくる責任 つかう責任

ikumoriプロジェクトでは、空(もく)や節など通常は除去される部分も意匠として使用することにより、廃棄木材を削減しています。また、ウェブサイトや SNS などを通じて、森林保全やエシカル消費などについて伝え、エシカルなライフスタイルへの関心を高めていきます。



13. 気候変動に具体的な対策を

ikumoriプロジェクトの推進によって、二酸化炭素の固定と吸収に貢献します。ikumori製品は国産材100%使用製品ですので外国産材の使用と比較すると輸送エネルギー=CO2排出の削減につながります。



17. パートナリーシップで目標を達成しよう

ikumoriプロジェクトは弊社だけではなく、製造事業者や森林組合、専門家などさまざまな方々との協働で展開していきます。

今後取り組んでいく目標

目標の 14 と 4 に貢献する取り組みも今後行います。





3. ikumori 製品の販売実績と植樹実績

◎植樹樹種

ikumori 製品に使用している 3 種類の広葉樹、ナラ・ニレ・センの苗木を植樹いたしました。



ナラ

いわゆるどんぐりの木。多くの生き物を育むことからヨーロッパでは「森の王様」と言われる。虎斑とよばれる虎の背に似た模様が人気で経年変化も楽しい。



ニレ

真っ直ぐな木目が美しいニレ。別名、アカダモ、オヒョウニレとよばれる 2 種類のニレを使用。リズム感のある木目が特徴。



セン

鋭いトゲがあり、質感が桐に似ていることからハリギリとも呼ばれる。柔らかさと丈夫さを兼ね備え、明るいくリーム色の木目が美しい。

◎植樹場所 / 北海道赤平市

プロジェクトパートナー空知単板工業株式会社様に植樹場所をご準備いただき北海道赤平市に植樹いたしました。



◎ikumori 製品販売実績（第 1 期 2021 年 12 月～2022 年 6 月）と植樹実績本数

下表のとおり、植樹計画数（※換算値）と同数の植樹を完了いたしました。

	ナラ	ニレ	セン
フローリング販売実績	463.32 m ²	21.84 m ²	108.54 m ²
パネル販売実績	16.38 m ²	72.06 m ²	—
植樹計画数（※換算値）	125 本	16 本	29 本
植樹実施数（2021 年 10 月 29 日）	110 本	16 本	—
植樹実施数（2022 年 10 月 15 日）	15 本	—	29 本
植樹実施数 合計	125 本	16 本	29 本

※植樹本数については製品に使用する原木の材積、仕様に適合する単板の材積、適合する割合を算出し、植樹した苗の 20% が生育すると仮定した場合の想定概算です。



4. 施工事例 / ユーザー様の声

ikumori 製品をご採用いただいた施工事例をご紹介します。



使用製品：ikumori フローリング複合北海道産ナラ 150 幅 UV 塗装品
用途：オフィス
施主：株式会社恒電社 様
設計：株式会社ものくり商事 様



設計ご担当者様

さいたま市内にあるこちらのオフィスは、古くから地域に親しまれた旧大宮図書館（Bibli）内にあります。歴史のある建物の雰囲気を生かすことと、自由な発想が生まれるオフィスをコンセプトに計画しました。天井高を上げて開放的な空間とすると共に、随所にレトロな素材を使い歴史のある建物との関係性を強めています。木目と少し濃い色味が決め手となり、ikumori フローリングを選定しました。



使用製品：ikumori フローリング複合北海道産ナラ 150 幅自然塗料塗装品
用途：住宅
施主：平野慎二 様



お施主様

地元を大切にしていきたい、今あるモノを大切にしていきたいという思いがあり、私の生まれた地で中古物件を購入しました。購入した家は元々沢山の自然素材が使われた素晴らしい日本家屋でしたので、リノベーションする上でもできるだけ自然素材に近いもの人の温もりが感じられるものを選ぶようになっていました。そんな思いの中での ikumori フローリングを自然と採用致しました。



5. ikumori 製品のご紹介

ikumori FLOORING



ナラ

ニレ

セン

ikumori フローリングの3つの特徴

- 表層単板は北海道を代表する広葉樹の挽板を使用。基材の合板にいたるまですべて100%国産材&国内製造
- 樹木の逞しさと生命力を感じさせる表情と木目の美しさを併せ持つ
- 幅150mm×長さ1800mmと森の木立を彷彿とさせるダイナミックな製品サイズ

商品名	規格
複合北海道産ナラ150幅	【厚み】14mm(表層単板2mm) 【幅】150mm
複合北海道産ニレ150幅	【長さ】1800mm
複合北海道産セン150幅	【仕上げ】UV塗装(抗ウイルス加工) 【入数】1.62㎡/6枚/束

ikumori PANEL



ナラ

ニレ

セン

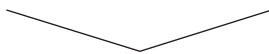
ikumori パネルの3つの特徴

- 表層単板は北海道を代表する広葉樹の突板を使用。
- スライサーによる突板のため、挽板と同様の自然な木目の表情。また、スライス技術を駆使した突板は、自然な荒々しさを表現。
- 幅180mm×長さ1820mmと森の立ち木を彷彿とさせるダイナミックな製品サイズ

商品名	規格
北海道産ナラ	【厚み】6mm 【幅】180mm
北海道産ニレ	【長さ】1820mm
北海道産セン	【仕上げ】ウレタン樹脂塗装(リアルマット) 【入数】10枚/束 【取得認定】不燃材料認定NM-1316



お問い合わせ



株式会社ニッシンイクス

マーケティンググループ

〒745-0814 山口県周南市鼓海2丁目118番63

TEL.0834-36-1700 FAX.0834-36-1711

Email : info@ikumori.jp

ikumori プロジェクト特設サイト URL

<https://ikumori.jp/>



コーポレートサイト URL

<https://www.nissin-ex.co.jp/>

